



腱鞘切開術 切腱術

四谷メディカルキューブ
手の外科チーム

腱鞘切開術・切腱術 手術説明

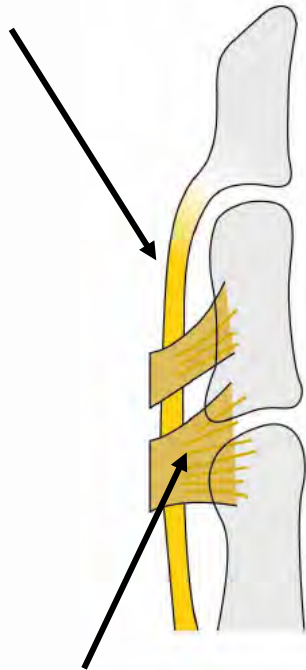
- 1.ばね指・腱鞘炎について
- 2.予定している手術と方法
- 3.治療の流れ
- 4.手術前の検査・麻酔について
- 5.手術当日の流れ
- 6.手術後の経過について
- 7.手のリハビリについて
- 8.手術によって起こりうる症状について
- 9.手術によって期待される効果と限界について

1. ばね指・腱鞘炎について

- 症状

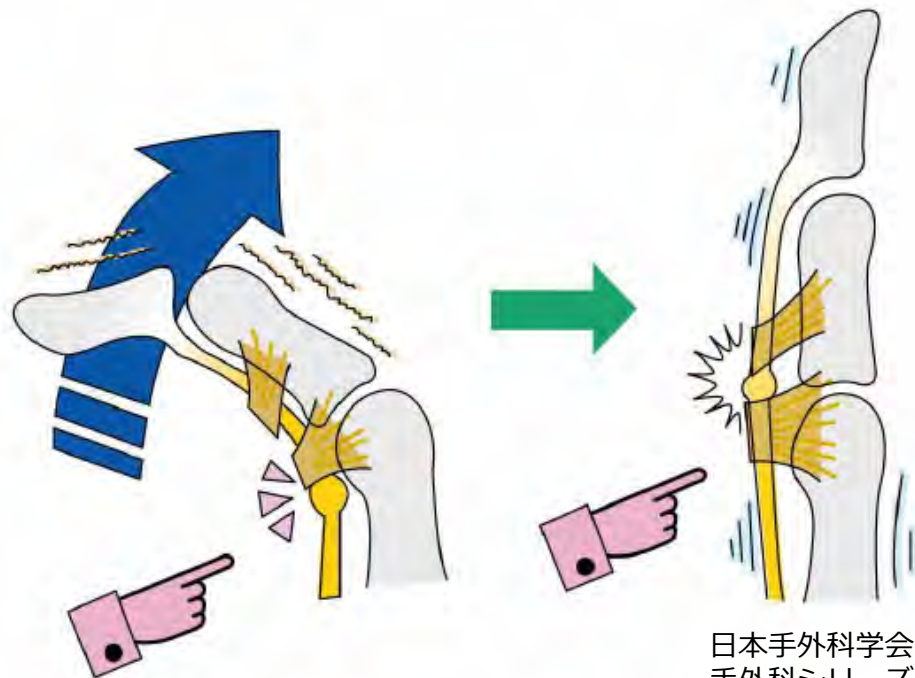
指が動かしにくい、動かそうとするとひっかかるようなばね指現象がみられます。

屈筋腱（指を曲げる腱）



日本手外科学会
手外科シリーズ出典

靱帯性腱鞘



日本手外科学会
手外科シリーズ出典

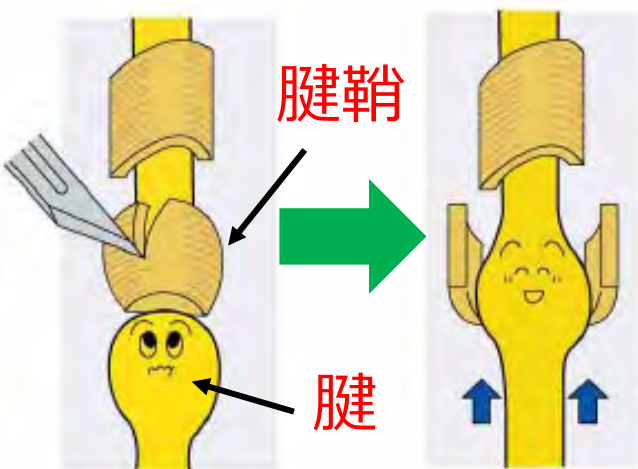
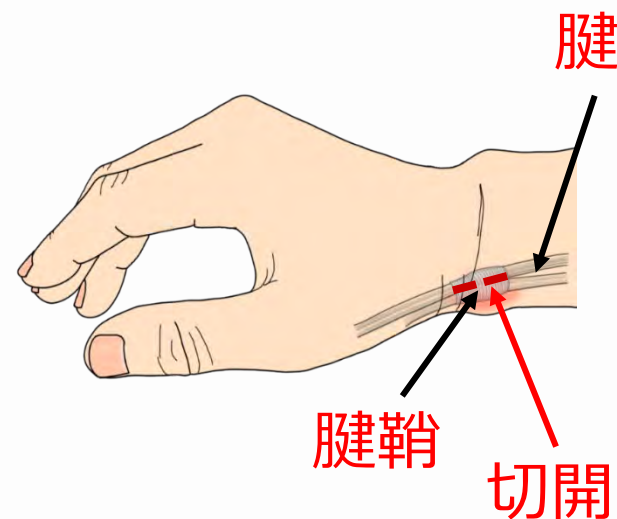
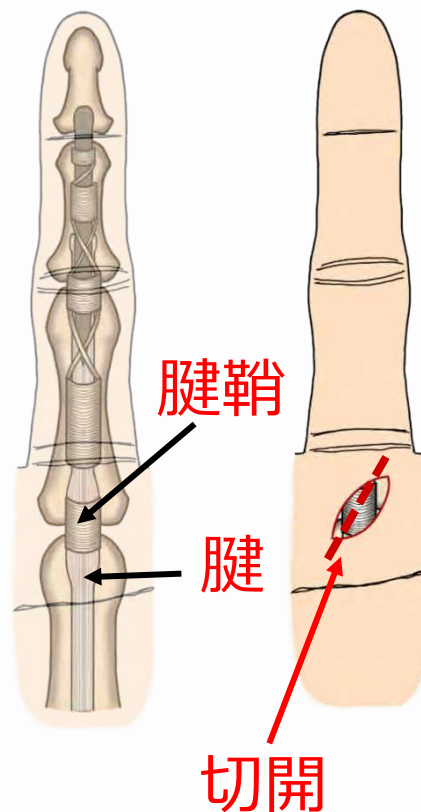
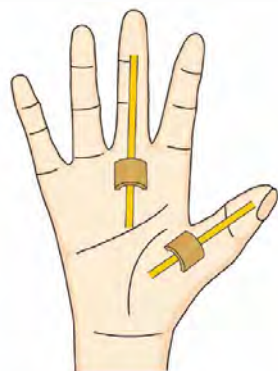
腱や靱帯の腫れが強くなると
ばねのようにひっかかります

2. 予定をしている手術と方法

腱鞘切開術

示指～小指

母指

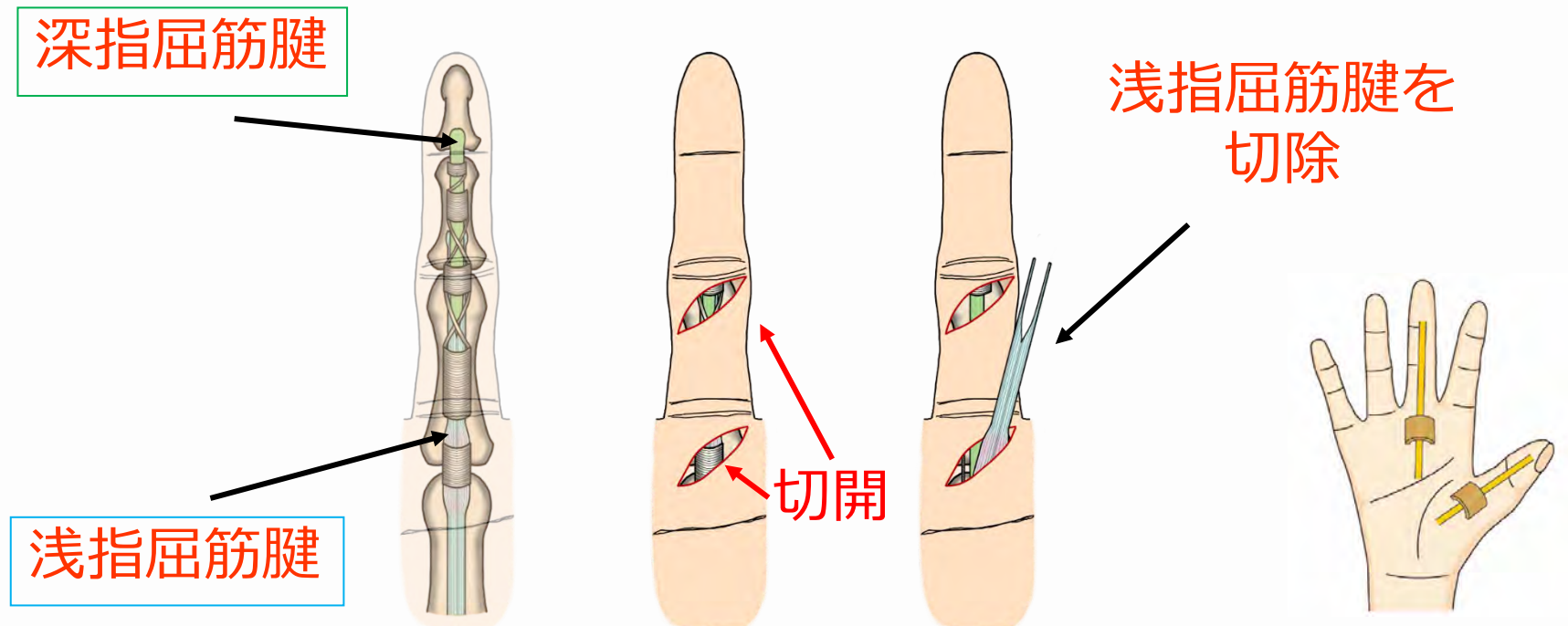


日本手外科学会
手外科シリーズ出典

腱鞘直上の小さな切開から、狭窄した腱鞘を切開します

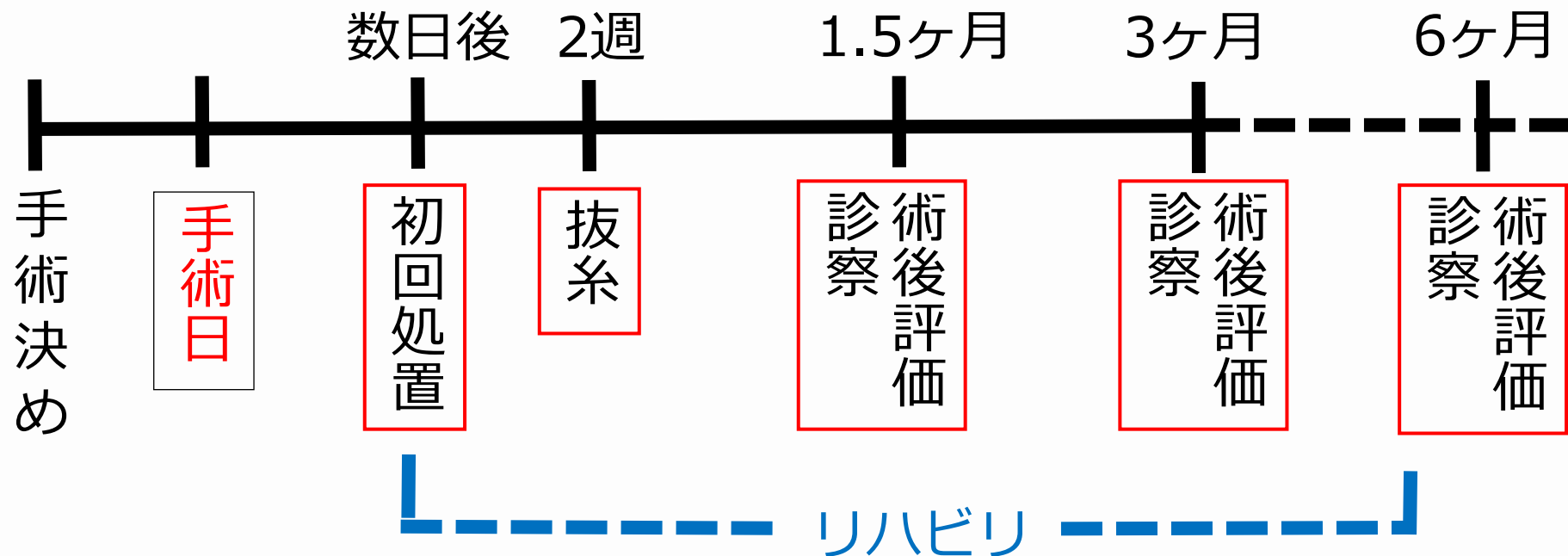
2. 予定をしている手術と方法

切腱術



手のひら2か所の小さな切開で、浅指屈筋腱を切除します

3.治療の流れ（来院していただく日）



- 手術数日後に初回処置、約2週後に抜糸があります。
- リハビリは初回処置から開始となり、術後の状態に応じてリハビリ通院があります。（切腱術の場合）

4.手術前の検査・麻酔について

■必要な検査

血液検査、身長・体重計測などがあります。

■麻酔法

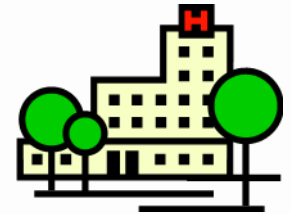
局所麻酔



5.手術当日の流れ

必ず指示された時間に1Fの受付にお越しください。

担当者がご案内いたします。



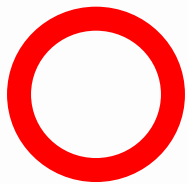
■手術後は包帯を巻くため、袖口のゆったりした服や歩きやすい靴でお越し下さい。肩掛けバックやリュックサックでの来院をお勧めします。

6.手術後の経過について

【活動について】

- ・手術後は動かすことに制限はなく、よく動かしていただきます。書字や箸動作は痛みに合わせて使用して下さい。
- ・重い物を持つ、スポーツなどの動作は、術後1ヶ月以降から痛みに合わせて開始して下さい。

術後約1ヶ月以降から
痛みに合わせて開始しましょう



痛みに合わせて行いましょう



7.手のリハビリについて

- ・リハビリは手術後、初回処置日から開始となります。

切腱術：リハビリ実施

腱鞘切開術：担当医から指示がある場合のみ実施

リハビリの回数

	一般的な回数
術後～術後1.5ヶ月	1～2週に1回
術後1.5ヶ月～3ヶ月	月に1回
術後3ヶ月～5ヶ月	月に1回

- ※ 回数はあくまで目安です。患者さんの動きや痛みの状態に合わせて、回数は相談します。

8.術後に起こりうる症状について

腫脹や浮腫

術後1～2週間はキズの炎症により、赤く熱っぽい腫れがみられます。術後2～3日をピークに徐々に赤みや熱は引いていきますが、むくみの腫れは残りやすく、3～6ヶ月かけて軽減します。できるだけ早く腫れを引かせるために、**高挙手（手を心臓より高く挙げる）**や、保冷材などで**アイシング（冷やすこと）**を積極的に行ってください。

術後のしびれ

手術後細かい神経がダメージを受けて、術後3～6ヶ月、しびれることがあります。時間が経つにつれて徐々に消えていきます。

8.術後に起こりうる症状について

手のこわばりや動かしにくさ

手術後は炎症が起こり腫れるため、一時的に指が動かしにくい、朝は硬くなって動かしにくいということがよくあります。むくみが軽減してくると徐々に改善してきますが、術後3ヶ月以上はみられます。

手の使いにくさ

手術後から軽作業は行っても構いませんが、力が入りづらかったり、少しの動きで痛みを伴ったりする事があり、うまく使えないことがよくあります。時間とともに徐々に使い方に慣れていきますが、手術直後から今まで通りにすぐに使い始めることは難しいです。



！ 家事などに関しては、ご家族にサポートをお願いしたり
道具など事前の準備をしておきましょう！！

9.手術によって期待される効果と限界



➤ 効果

指の付け根が腫れる、痛みがあるといった症状は軽減され、指の動きが拡大します。



➤ 限界

切腱術の場合、指の細かい動きができなくなることがありますが、数ヶ月で手の使い方に慣れていきます。痛みが取れると、今までより使いやすくなります。